

## 「羽田空港の飛行経路見直しに関する要望」書提出

日 時：平成28年4月22日（金）午後4時30分～午後4時45分

場 所：国交省 国土交通副大臣室

出席者：土井国土交通副大臣、山田美樹議員（自民党衆議院東京1区：千代田・港・新宿）、菅野弘一都議、黒崎区議、大島連合会会長、南連合会事務局長、秋山品川駅港南口商店会会長、小林、谷田、古屋、吉武

(質疑の概要)

(黒崎) 港区港南地域はタワーマンションが近年沢山建設され、人口も急増していて飛行経路の変更による騒音・落下物等の問題を地元住民が心配している。昨年8月以降、オープンハウス型説明会とワークショップを夫々2回開催したが、今日は地元代表の方々が大臣に直接要望するためおたずねした。

(秋山) ①国交省は平成25年から羽田の飛行経路問題を検討してきており、十分な時間があつたにもかかわらず、昨年8月になって初めて住民説明会を行った。しかも、南-2案しか説明せず、こちらの求めで南-1案を説明する始末だ。

②航空会社の平均乗車率は70～75%程度で、住民の犠牲のもとにあえて増便する必要はないのではないか。

③飛行機が上空を低空飛行することによって、騒音問題等により明らかに不動産資産価値が下がる。保障問題も全く示されていない。

(土井) ①本件に関し、入口で対応がまずかったとのご指摘は十分受け止める。

②観光客等の外国人を日本に4000万人、6000万人と受入れていこうという計画からすれば、羽田を中心の増便は避けて通れない問題だ。

②南-1案が良いという皆さんの思いは理解するが、交差や千葉県との問題を考えると、南-2でやらざるを得ないことを理解して欲しい。

(吉武) 先日公開されたホームページの「環境に配慮した方策の検討の方向性」というページの「環境対策その他」として、(1)騒音測定の充実(2)市民窓口の設置が明記されている。①港南地域全体としてビフォア・アフターの騒音測定を国交省の責任と負担で実施してもらいたい。また、②今回の問題が解決した後でもいつでも話し合えるよう常設の市民窓口を設置して欲しい。

(土井) 具体的な要望として話してもらおうほうが良いので、言って欲しい。

(熊本地震対策会議出席のため会談終了、石井大臣にも要望書提出)